

2017年4月4日  
第一生命保険株式会社

## 中東地域におけるプロジェクトファイナンス案件への 投資について

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、海外プロジェクトファイナンスに投融資する信託スキームを活用し、米ドル建貸付債権の譲渡を受ける形でカタールにおける天然ガス処理プラント設備建設プロジェクトに約 57 億円の投資を行うことを決定しました。

当社は、プロジェクトファイナンス投資において、対象分野及び対象地域の拡大に継続的に取り組んでおりますが、本件は、当社初の中東地域におけるプロジェクトファイナンス案件への投資となります。なお、裏付けとなる貸付債権は、日本政府 100%出資の輸出信用機関である株式会社日本貿易保険(以下 NEXI)による貿易保険が付保されています。今回の投資に際しては、対象プロジェクト自体の分析・評価を行うと共に、NEXI による信用補完を踏まえた評価手法・投資基準の整備・構築を図りました。

足元、日本政府が発表した「質の高いインフラ輸出拡大イニシアティブ」においても、日本のインフラ輸出拡大に向けた一つの施策として、NEXI の機能強化が挙げられていますが、当社においても本件のような NEXI による貿易保険付保融資にも積極的に取り組み、投資を拡大していく方針です。

引き続き多様な投資案件への取り組みなどによる運用手法の高度化・多角化によって資産運用収益を確保するとともに、日本のインフラ輸出拡大への貢献といった機関投資家としての金融仲介機能の発揮にも取り組んでいきます。